

歴

史資料館だより



No.45
教育委員会文化財課
文化財グループ
(☎58-5111・75-3111 代表)

歴史資料館 第2回企画展

『新治汲古館』の継承

7/28
～
10/31

真壁伝承館歴史資料館では、去る7月28日から10月31日まで、「新治汲古館の継承」文化財レスキューの一事例」と題して第2回企画展を開催しています。

蔵に陳列され、家族や関係者の努力により、広く見学者に公開されています。

しかし、東日本大震災により蔵が被災し、収蔵品の一部も破損。そのため、公開はもとより収蔵品の保管も難しい状況となってしまいました。そこで、今回桜川市が藤田家より資料の寄託を受け、収蔵・管理を引き継ぐこととなりました。

「新治汲古館」とは、筑西市古郡(旧協和町)にあった私設の資料館で、在野の考古学者であった藤田清氏が、戦前より蒐集していた縄文土器や石器、埴輪など様々な資料を展示していました。これらの資料の採集・調査地は茨城県内を中心に県外、一部は国外にまで及んでおり、特に高井悌三郎氏とともに実施した地元・新治郡衙跡(古代の役所跡)、新治廃寺(いずれも国指定史跡)の発掘調査は全国的に著名です。

藤田氏の蒐集した資料は、藤田家の敷地内に建てられた

総数1万点を超える資料は、文化庁が行う「文化財レスキュー」という事業の一環として、全国各地から集まった研究者や茨城大学の学生を中心とするボランティアの手により、桜川市へ移管されることとなり、市内の収蔵施設で保管されています。

今後は、これらの資料の整理や震災で壊れたものの修復

などを徐々に進めていきますが、その手始めとして新治汲古館に納められていた資料の中からごく一部を選び、企画展として展示を行うこととなりました。

展示品は、数万年前の石器や人・馬形の埴輪、古代の寺院を飾った瓦など、逸品ぞろいです。

また、新治汲古館の歴史やボランティアにより資料が移管されたときの写真なども展示します。ぜひご覧ください。



ボランティアの皆さんの手で被災した新治汲古館から多くの資料が運び出されました。

歴史講座のご案内

(仮)文化財レスキュー
事業について

■日時／8月12日(日) 13時30分

■場所／真壁伝承館会議室
1(桜川市真壁町真壁198)

■講師／田中裕氏(茨城大学
学人文学部准教授)

■参加費／無料

■問合せ・申込先／桜川市教育委員会文化財課(☎58-5111・75-3111、内線3223)



※申し込みは、真壁伝承館ではなく、文化財課(真壁庁舎)にお願いします。また、真壁伝承館は駐車場が狭いため、車で来館の場合は可能な限り乗り合わせでお願います。

発掘調査により出土した新治廃寺の瓦

運転免許

夏休み特別企画

スピードプラン実施中

夏休み中の免許取得がらくらく

スピードプランの一例

8/2 (木)	入校	→	8/27 (月)	卒業見込み
8/7 (火)	入校	→	8/29 (水)	卒業見込み
8/17 (金)	入校	→	9/11 (火)	卒業見込み

Uターン学生に
大好評!

土、日OK
送迎あり(無料)・ローンあり

お問い合わせ

公認 明野自動車学校

☎0296(52)2811

ホームページ <http://www.areaguide.jp/akenods/>